

VI 令和4年度「文化芸術による子供育成総合事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	演劇	種目	児童劇
----	----	----	-----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の有無(該当する方を選択してください。)

複数申請の有無	無
---------	---

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

その他を選択した場合	
------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしがいいしゃにんぎょうげきだんむすびざ 株式会社人形劇団むすび座		
代表者職・氏名	代表取締役 大野正雄		
制作団体所在地	〒 459-8001		
	愛知県名古屋市長区大高町字川添86番地		
電話番号	052-623-2374	FAX番号	052-623-9520
ふりがな 公演団体名	にんぎょうげきだんむすびざ 人形劇団むすび座		
代表者職・氏名	代表 大野正雄		
公演団体所在地	〒 459-8001		
	愛知県名古屋市長区大高町字川添86番地		
制作団体 設立年月	1967年 1月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役:大野正雄 取締役:永草友子・長田明子 監査役:田中寛次	団体構成員(劇団員)36名 制作部9名 総務部:3名 演技部:24人 加入の条件:劇団の実施する入団審査に合格すること	
事務体制の担当	専任	本事業担当者名	伊藤博美
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	古田克司

制作団体沿革	昭和42年人形劇団むすび座創立 昭和49年法人格取得 昭和63年名古屋市芸術奨励賞受賞、名古屋で開催の「世界人形劇フェスティバル'88」(国内外 より延べ95,000名が参加)の事務局として中心的な役割を果たす 平成16～令和2年度まで文化庁「文化芸術による子供育成総合(本物の～)事業」に12回採択 平成20年度愛知県芸術文化選奨文化賞受賞 平成26年度「ピノキオ」:児童健全育成推進財団「児童福祉文化賞」受賞 「父と暮せば」:「厚生労働省社会保障審議会特別推薦作品」に選定 平成28年度「ピノキオ」:韓国招聘公演(ソウル他4ヶ所11公演) 平成29年度第33回芸術創造賞受賞(名古屋市文化振興事業団) 平成30年度「オーケストラの生演奏で贈る-音楽人形劇-ピノキオ」:「文化庁舞台芸術創造活動活性化事業」に採択、「ピノキオ」韓国招聘公演(ソウル芸術の殿堂11日間14公演、他3ヶ所計19公演) 令和元年度「オズのまほうつかい」:「文化庁舞台芸術創造活動活性化事業」に採択 「オズのまほうつかい」「かくれ山の大冒険」:「厚生労働省社会保障審議会特別推薦児童福祉文化財」に選定 令和2年度「チト～みどりのゆびをもつ少年～」:「文化庁舞台芸術創造活動活性化事業」に採択			
学校等における公演実績	<平成30年度> 1,256公演 ・小学校公演:103、おやこ劇場・公文協・自主公演等:299、幼稚園・保育園等公演:854 <令和元年度> 1,057公演 ・小学校公演:115、おやこ劇場・公文協・自主公演等:156、幼稚園・保育園等公演:786 <令和2年度> 620公演 ・小学校公演:48 「アラビアンナイト」22、「オズのまほうつかい」15、「かくれ山の大冒険」11 ・おやこ劇場・公文協・自主公演等:49 「ピノキオ」1、「アラビアンナイト」8、「オズのまほうつかい」1、「かくれ山の大冒険」1、「トッケビ」4、「ともだちや」他3演目34 ・幼稚園・保育園等公演:507(ともだちや」他8演目) ・乳児向け公演:16			
特別支援学校における公演実績	平成13～16年度 愛知県立港養護学校 平成16～27年度 三重県立養護学校北勢きらら学園 平成16年度 愛知県立三好養護・安城養護・豊田市立豊田養護学校 岐阜県立中濃特別支援・飛騨特別支援学校 平成22年度子どものための…三重県立特別支援学校東紀州くろしお学園おわせ分校 平成24年度次代を担う……京都府立八幡支援学校 平成26年度文化芸術による…宮崎県立みやざき中央支援学校 平成28年度 名古屋市立南養護学校 平成29年度文化芸術による…三重県立くわな特別支援校 大阪府立西淀川支援学校 令和元年度文化芸術による…千葉県立銚子特別支援学校 山梨県立あけぼの支援学校 令和2年度文化芸術による…高知若草特別支援学校 令和2年度体験機会創出…宇都宮大学共同教育学部付属特別支援学校			
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有	
		申請する演目のDVDまたはWEB公開資料	有	
		※公開資料有の場合URL	DVDを提出します。	
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	
			PW:	
	Aの提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料		
		※公開資料有の場合URL		
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	
			PW:	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 人形劇団むすび座 】

対象	○	小学生(低学年)		-	中学生
	○	小学生(中学年)			
	○	小学生(高学年)			
企画名	自己肯定感を育む人形劇「オズのまほうつかい」 ～自分を好きになる冒険の旅～				
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	演目 「オズのまほうつかい」 原作:ライマン・ボーム 脚色/篠原久美子(劇団劇作家) 演出/関根信一(劇団フライングステージ) 美術/宮武史郎・小辻賢典 音楽・音響/ノノヤママナコ(マナコ・プロジェクト) 振付・振付指導/LONTO(ラストラダカンパニー)・服部哲郎(afterimage) 衣装デザイン/長谷川真代 照明/若狭慶大(藤井照明) 合唱指導/板倉歌奈子 制作/吉田明子・伊藤博美 公演時間(90分)				
著作権	○	制作団体が所有		制作団体以外が所有する 事項が含まれる	(制作団体以外が所有する 事項が含まれる場合) 許諾状況
演目概要	<あらすじ>ドロシーは、家ごと竜巻に巻き上げられ、オズの国にやってきます。そこでドロシーは、カカシ・ブリキ・ライオンと出会い、どんな願いもかなえてくれる「オズ大魔王」に会うために旅に出ます。カカシは脳みそ！ブリキは心！ライオンは勇気！をもらうため。ドロシーは、我が家に帰るために…。 <みどころ>①広く知られている物語ですが、私たちは、ドロシーだけでなくカカシもブリキもライオンも、みんな子どもとして描きました。孤独で喪失感を抱え、自分に自信がなく自分はダメだと思っている子どもたち。彼らは旅をする中で時にはけんかをし、時には補い合いながら、かけがえのない友達になっていきます。登場人物を子どもに設定したことで、「オズの魔法使い」の世界は、より観客の子どもたちへと近づきました。観客と一緒に進んでいくドロシーたちの冒険の旅は、子どもたちに仲間の大切さを伝え、子どもたちが自分自身を好きになるきっかけとなることでしょう。 ②存在の多様性を視覚的に表現するため、ワラの詰まった麻袋、無機質なブリキ等、登場人物それぞれの違いを強く意識し、素材感を前面に出した人形デザインにしました。ドロシーたちは自分とは全く違う存在と出会った時、お互いを否定し排除するのではなく、協力し合って困難を乗り越えていきます。その姿を子どもたちが観て、自分ならどうするだろうと考え、多様性について考える契機になればと願っています。 ③明るく軽快な曲と共に物語が次々と展開していくテンポの良さや疾走感、俳優自身のパフォーマンス等もみどころのひとつです。子どもたちは、人形と俳優自身のパフォーマンスが融合されたダイナミックで軽やかな舞台に釘付となり、心を奪われるでしょう。<別添あり>				
演目選択理由	①本作品の特徴である文楽の様式を取り入れた三人遣いは、1体の人形を3人で扱います。この三人遣いは、相手の気持ちを想像し、息を合わせ力を合わせるにより成立します。俳優たちが協力し合って人形に命を吹き込んでいる姿を観ることにより、子どもたちはコミュニケーションの大切さ、力を合わせることの大切さに気づきます。 ②この作品のテーマは『自分を好きになる冒険の旅』。「みんなと少し違うからこそ気づくことがある。少し違って自分自信を持ってほしい」。そんなメッセージも込められています。世の中には様々な個性や価値観が存在することを伝え、一方で自信を失い気持ちが沈んでいる子どもたちには「あなたはあなたのままで良いんだよ」と伝え、すべての子どもたちの成長・発達や健全な人格形成に寄与したいと考えています。 ③良質な舞台芸術に触れた感動は、子どもたちの感受性と情操を育み、豊かな発想力やコミュニケーション能力育成の端緒となります。そしてその強烈な感動体験は子どもたちの心に宿り、将来の芸術家の育成や芸術鑑賞能力の向上につながります。「特別推薦児童福祉文化財」等にも選定された本作品は、優れた芸術性と高い教育的効果を併せ持ち、本事業の事業効果を向上させるのに最適であると考え、この演目を選択しました。				
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<共演形態>①事前のワークショップで、子どもたち一人一人が自由な発想でマンチキン(オズの国の住人)の仲間たちを作り、劇中の歌を歌いながら人形を動かす練習をします。 ②本番当日、竜巻に巻き上げられたドロシーがオズの国・マンチキンに着陸し、エメラルドの国に向かって出発するシーンで子どもたちが自分の作った人形を手に登場。俳優たちと共に踊り、歌いながらドロシーの旅路を見送ります。 <公演終了後>①子どもたちから感想を聞く②俳優たちが人形の動かし方や人形・舞台セットの構造等を説明する③子どもたちの質問に答える。など、全児童との交流の時間をもちます。 子どもたちが退場する際には、俳優たちが人形を持ち、子どもたち一人一人と人形で握手を交わし会話をしながら、子どもたち全員を見送ります。 <その他>舞台裏や人形を間近に見ながら俳優たちと交流する手段として①舞台の裏側を見学し俳優たちから説明を聞く「バックステージツアー」を行う②バラシ(片付け作業)を手伝ってもらう。などの実施も可能です。				
出演者	小辻賢典、太田博己、和田真琴人、小林嵩幸、高光浩一、渡辺智美、野瀬葵、山口華穂				
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者： 8 名 スタッフ： 2 名 合 計： 10 名		機材等 運搬方法	積載量： 2 t 車 長： 7 m 台 数： 1 台	

実施に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の 目安	前日仕込み	無	会場設営の所要時間		2.5 時間程度	
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	9時	9時～11時30分	13時30分～15時	10分	15時 ～16時45分	17時
	※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。					
児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ		100名(1学年程度)			
	本公演		500名			
ワークショップ 実施形態及び内容	①公演で共演する児童一人一人に、自由な発想で自分だけの「マンチキン」人形を作ってください(材料はすべて用意します)、完成した人形を動かして表現する方法をレクチャーします。その後、共演する「ドロシー」を歓迎し見送るシーン」の人形の表現方法と空間での動きを練習します。 ②この「オズのまほうつかい」では、文楽の様に1体の人形を3人で遣う「三人遣い」の様式を取り入れています。その「三人遣い」の操作方法や人形の材質・構造についての説明を行い、実際に「三人遣い」を体験していただきます。＜別添あり＞					
ワークショップ 実施形態の意図	①個々の感性で自由に人形を製作することにより、発想力・想像力・創造力を刺激します。また、完成した人形を自分が動かすことで、「もの言わぬモノ」に命が宿り、表情が見えてくることを発見・体験し、人形で表現する楽しさ、面白さを実感します。そして、集団で演技することにより、バランス感覚や自発性・協調性・コミュニケーション等を学び、達成感、充実感を得ます。 ②舞台では生きているかのように動く人形ですが、その人形を実際に自分が動かすことにより、人形の重さや動かす難しさを身をもって体験します。そして、「三人遣い」を体験することで、3人が息を合わせて協力し合うことの大事さ、チームワークやコミュニケーションの重要性を実感します。					
特別支援学校での 実施における工夫点	特に変更なく実施できますが、先生方との事前打ち合わせをより綿密に行います。その事により子どもたち一人一人の状況や発達段階を把握し、人形作りや公演への参加の仕方等を配慮し、無理なく楽しく参加していただけるようにします。					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

リンク先	No.2	【公演団体名	人形劇団むすび座	】
演目概要	<演目概要 補足資料> 平成31年度文化庁「舞台芸術創造活動活性化事業」採択 事後評価において以下の高評価を得ました。<抜粋> 「* 他と違う自分を認める自己肯定と、悲しみや回り道にも全てに意味があるという人生の肯定に重点を置いて脚色し、等身大で魅力的なキャラクター造形と精緻で秀逸な台詞によって、現代を生きる子供だけでなく大人にも突き刺さる応援メッセージを持った強靱な作品とした。 * 人形の縮尺をシーンによって使い分ける表現や変幻自在な舞台セットなど、人形劇ならではの表現方法を存分に駆使しながら、人間が中心となるにぎやかなダンスシーンやコミカルなシーンなども取り入れ、メリハリと統一感を両立した洗練された演出を施した。 * 人形造形や美術においては、当該劇団の得意とする三人遣いを活かし、素材選びや見せ方の多様さも作品の大きな魅力となっていた。」 令和元年度「厚生労働省社会保障審議会特別推薦児童福祉文化財」選定 令和2年度児童健全育成推進財団「児童福祉文化賞推薦作品」選定 <舞台写真>  オズの国に迷い込んだドロシー 北の魔女とマンチキンの人々 ※このシーンで共演していただきます。 ♪ オズ大王さま まっててね～♪ ♪ 黄色いレンガの道は続いてる～♪   ドロシー 帰っちゃうの？ さびしいよ～！			

リンク先	No.3	【公演団体名	人形劇団むすび座	】
ワークショップ 実施形態 及び内容	＜ワークショップ 実施形態及び内容 補足資料＞			
	①人形作り&表現のレクチャー 「マンチキン」は、ドロシーがオズの国に迷い込んで初めて出会う「オズの国」の住人で、“ペープサート”と呼ばれる、平面の形をした人形です。 児童の皆さんには自分だけの「マンチキン」のペープサート人形を作っていただきます。 (基本材料はすべて用意します) 完成した人形を使い、“ペープサート”の効果的な動かし方のレクチャーを受けながら、 共演シーンでの動きを練習していきます。 劇中に登場する “マンチキン” の人々 子どもたちがつくる “マンチキン人形” 見本 ② “三人遣い”を体験 「オズのまほうつかい」では、1体の人形を3人で遣う「三人遣い」の様式を取り入れています。 児童さんにも3人1組になって体験していただきます。 (体験人数が限定される場合があります) 3人の遣い手の役割分担は ★頭と片方の手を遣う主遣い ★足の補助を行なう足遣い ★主遣いが遣わない手を 遣う手遣い です。 3人が協力しないと人形はうまく動いてくれません。 この三人遣いを体験することで、力を合わせ息を合わせて協力しあう事の大切さ、コミュニケーションの大切さを実感していただけます。 “三人遣い”体験の様子 (2017年撮影)			

オバサンが まほうつかい



自分を好きになる
冒険の旅



厚生労働省社会保障審議会
特別推薦作品

ドロシーは ある日、家ごと竜巻に巻き上げられて
飼犬の**トト**と一緒にオズの国にやってきます
そこで出会った3にんの友だち

カカシ、**ブリキ**、**ライオン**

4にんとトトは、どんな願いもかなえてくれる

「偉大な**オズの魔法使い**」に会うために旅に出ます

カカシは**脳みそ**！ **ブリキ**は**心**！ **ライオン**は**勇気**！をもらうため

ドロシーは、**我が家に帰る**ために・・・

オズのまほうつかい

原作 /
Lyman Frank Baum

スタッフ
脚色 / 篠原久美子 (劇団創作家)

むすび座創立50周年記念作品「チト みどりのゆびをもつ少年」脚色。
等身大の子ども像の描写と社会に対する深い洞察力を持つ。

演出 / 関根信一 (劇団フライングステージ)

カミングアウトしているゲイの劇団「劇団フライングステージ」の代表。細やかで鋭く深い人間観察と、様々なマイノリティを包み込み、一人一人の個性に寄り添った温かな作品創りに定評がある。東海地方では劇団うりんこ「わたしとわたし、ぼくとぼく」も作・演出。

美術 / 宮武史郎 小辻賢典

音楽 / ノノヤママナコ (マナコ・プロジェクト)

振付 / LONTO (ラストラダカンパニー)

服部哲郎 (afterimage)

衣装 / 長谷川真代

照明 / 若狭慶大 (藤井照明)

宣伝美術 / 杉江智子 (デザインキッズ)

写真 / 服部義安

制作 / 吉田明子 伊藤博美



むすび座の〈**オズのまほうつかい**〉は
ドロシーだけではなく、カカシもブリキもライオンも子どもです。
3にんは自分に自信がなく自分を好きになれません。
そしてエメラルドの都に行けばオズの魔法で悩みが解決して
自分を好きになることができると信じています。
・・・でもそれは本当に魔法で叶えられるものなのでしょうか？

人形劇団むすび座は、1967年に名古屋で生まれ、「子どもと子どもをむすびます。おとなとおとなをむすびます」との思いを持ち、数々の人形劇を創ってきました。劇団員は38名。活動は東海地方を中心に全国に渡り、海外公演も行っています。
人形達が繰り広げるお話の世界を楽しみながら、子どももおとなも元気になれる、そんなお芝居をたくさん創って皆さんにお届けします。

今回の篠原久美子さんによる脚色では、ドロシーだけでなく、かかし、ブリキ、ライオンも「子ども」という設定です。
子どもたちが力を合わせて旅をすることで、より冒険のわくわく感が増しました。

また、かかし、ブリキ、ライオンは、自分に自信が持てない子どもですが、彼らは冒険を通じて、自信を取り戻していきます。
三人がそれぞれほしかった知恵と勇気と心は、すでに自分の中にあっただのかもしれませんが、冒険と仲間との交流のなかで
育まれたのかもしれません。いずれにしろ、子どもにとって、三人のキャラクターが身近にかんじられるものになっている
のが、この脚色のすてきなところだと思います。

人形を製作していく過程でお願いをしたのは、多様性ということです。ドロシーは、人間とは違う存在の、かかし、ブリキ、
ライオンと出会っても、そのことにおどろかず、ひるまず、当たり前のこととして、友だちになっていきます。あまりに当
たり前に描かれているので、気がつきにくいのですが、「オズのまほうつかい」の一番の魅力はここにあるのではないかと僕は
感じています。子どもたちが、自分と違う存在の友だちと出会って、力を合わせて困難を乗り越えていく。そのような、子
どもたちに見てもらい、自分ならどうするだろうと考えてもらえたらいいなと思っています。

【令和4年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	D50	分野	演劇	種目	児童劇	ブロック	D	区分	A区分
公演団体名	人形劇団むすび座				制作団体名	株式会社 人形劇団むすび座			

① 会場条件等についての確認

項目	必要条件等							応相談
控室について	必要数 *	1室	条件		体育館からあまり遠くない場所が希望です。ない場合は舞台袖や器具庫などでもかまいません。			可
搬入について	来校する車両の大きさと台数 *			2tトラック	1台	バン	1台	不可
	上記車両について「応相談可」の場合、内容詳細							
	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			長さ647cm 幅219cm 高さ316cm				—
	搬入車両の横づけの要否 *			必ずしも必要ではないが、可能であれば横づけ希望				可
	横づけができない場合の搬入可能距離 *			距離は問わないが、近距離希望				可
	搬入経路の最低条件							—
	理由							
	設置階の制限 *			問わない				—
	搬入間口について 単位:メートル		幅	1.2m		高さ	1.8m	
WSIについて	参加可能人数		100名程度まで					可
	学年の指定の有無 *	あり	指定学年 *	中学年		高学年		可
	所要時間の目安 単位:分		90分(2時限)程度					可
本公演について	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。					
	鑑賞可能人数		1～500名程度					可
	舞台設置場所 *		フロア					不可
	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル	幅	14m	奥行	8m	高さ	6m	可
	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保 *						—
		舞台袖スペースの条件 *						—
		緞帳 *				バトン *		
	遮光(暗幕等)の要否 *		要	理由	照明効果のため。 真っ暗にならなくても可。			可
	ピアノの調律・移動の要否 (調律費・移動費は経費対象外です)	指定位置へのピアノの移動 *		不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			—
		ピアノの事前調律 *		不要			—	
	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況 *		ステージ前方にある場合は、格納されていれば可			可	
	公演に必要な電源容量		50A	※主幹電源の必要容量			可	
	その他特記事項							応相談
年間100校前後の小学校で公演している実績があるため、ほとんどの学校での上演に対応できます。							—	

会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	1.2m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの可否		必ずしも必要ではないが、可能であれば横づけ希望		
横づけができない場合の搬入可能距離		距離は問わないが、近距離希望		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

